

2025 年度 工学院大学 エコ推進委員会 方針

工学院大学エコ推進委員会

委員長 宮本壮祐



1. 2025 年度活動目標

エコ推進委員会は学生に環境問題についての興味・関心を持ってもらい、意識を高めてもらうことを目的として活動を行っている本学学生団体である。本会が環境問題进行处理するのではなく、その問題提起と解決をするための方策を提示し、学生自身が改善を行うことで意識の向上を図る。

活動は本会独自プロジェクトである、「KU-SEM Project (KOGAKUIN University Student Environmental Management)」を中心とし、環境省が掲げている環境マネジメントシステムの継続的改善サイクル (PDCA サイクル) に基づき、年間を通して活動する。

他団体との連携も強化し、本学学生団体に対しては特に本会の活動を理解した上で、環境活動に意識をもってもらえるようにする。

本会の活動スローガンは以下の通りである。

「本会が問題解決の方策を提示し、実際の問題解決は全学生で行う。」

2025 年度は、環境活動を行う他団体との交流を増やし、活動に関する知見を深め、新たな活動の模索を行うと同時に、より多くの学生に対して活動に関わってもらえるように工夫をする。また、常設委員会であることに対しての責任を持ち、1 年間を振り返った時に「工学院大学の学生の環境保全に対する意識を少しでも高めることができた」と宣言できるよう日々の活動を全うしていく。また、今年度は新入生獲得にも力を入れていく。

2. 活動方針

①エコキヤップ・コンタクトレンズケースプロジェクト

学内に設置されているゴミ箱の横にペットボトルキヤップ回収用ボックス及びコンタクトレンズケース回収用ボックスを設置し、ペットボトルキヤップやコンタクトレンズケースの分別回収を行う。学生自らが分別をすることで分別意識を持ってもらうことを目的としている。分別されたものはエコ推進委員会が回収を行い、リサイクル材料として企業へ引き渡す。リサイクル材料として発生した資金は発展途上国の子供たちを救うワクチンに利用する取り組みへと送られる。

②委員会広報を用いた情報提供

学内向けにエコ推進委員会の活動報告やイベントの告知などを行い、エコ推進委員会の取り組みを幅広く周知することと、環境に対する関心を高めること、そして環境に関するテーマを適宜提案して環境問題について意識してもらうことを目的としている。内容は、コンタクトレンズカバーやエコキヤッププロジェクト等の結果や環境イベントについての掲載をその都度行う。写真や図などを用いてイラストを工夫する。そして、より分かりやすい記事を目指す。また、気軽に取り組みめるテーマなどを中心として活動を促すボスターの制作を行う。今年度は、X(旧 Twitter)などの SNS も活用し、より多くの学生たちに見てもらうことが狙いとする。

③学外活動

エコ推進委員会自身の環境問題に対する知識や活動のアイデアをより深いものにすることを目的としている。外部で行われている環境保全に関する活動に参加をし、通常の活動では得られない体験を行うことで、活動に対する新たな視点の発見を図る。

④学園祭でのエコステーションの設置

フレスポ・八王子祭・新宿祭でのゴミの一挙分別回収を行うことで、学生や来場者の分別意識向上を目的としている。エコ推進委員会はゴミの具体的な分別方法呼び掛け、実際の分別はゴミを捨てに来た学生や来場者に直接行ってもらう。人員が少ないため、状況によっては他の団体に協力を依頼する場合がある。

⑤環境改善の促進

キャンパス内やキャンパス付近の景観の改善、本学学生の施設利用に関するマナーの向上を目的としている。本活動は学生自治会常任委員会、学生支援課と連携して行い、八王子キャンパスのロッカーの使用に関するマナーの向上を目的としたロッカー清掃を行う。また、八王子キャンパスの近隣住民と交流を図りながら学外の清掃を行い、地域に貢献をする地域清掃を行う。

以上の項目を 2025 年度の方針である。